

モチベーションファクター対談

公開日 2024年4月1日

「人生は魂の修行」という信念を、「人生は遊び」という信念に昇華させる タイ王国チェンマイに移住しオーガニックカフェを建立

グローバルにビジネス展開したり、人生設計したいと考えている人は少なくありませんが、それを実現できている人は限られています。商社を設立し17年にわたりグローバルビジネスを展開した後、タイに移住しオーガニックで人生設計を実現している武田淳さんと対談させていただきます。

対談者（敬称略）

貿易商社 t-iarumas T&A 株式会社創業者 The Hippocratic Theory Organic Café オーナー 武田 淳	モチベーションファクター株式会社 代表取締役 山口 博
--	-----------------------------------

プロフィール

武田 淳（たけだ あつし）

メーカーと商社の両方で貿易業務に従事した後、商社 t-iarumas T&A を設立し、グローバルビジネスを展開。2020年にタイ王国バンコクに移住し、その2年後チェンマイに移住。オーガニックカフェ The Hippocratic Theory Organic Cafe を開設準備中。趣味はカフェ巡り、DIY、畑作り。

山口 博（やまぐち ひろし）

モチベーションファクター®（意欲を高める要素）を梃にした分解スキル反復演習®型能力開発プログラムの普及に務める。国内外金融、IT、製造企業の人材開発部長、人事部長、PwC/KPMG コンサルティング各ディレクターを経て現職。横浜国立大学大学院非常勤講師「グローバルスタンダードの次世代ビジネススキル」講座担当。



経営していたグローバル商社を売却し、タイ王国チェンマイに移住

(山口)

武田さんは、独立して商社を立ち上げ、17年にわたりグローバルビジネスを展開されてきました。その経緯は、ハーバービジネスオンライン連載「分解スキル反復演習が人生を変える」の中で[対談](#)させていただいていますが、商社を起業した動機は、どのようなことだったのですか？

(武田)

メーカーや商社勤務時代から「日本の技術を世界に広めたい」という思いで働いていました。「メイドインジャパン」の製品にこだわって日本から世界に輸出をメインにした貿易会社を起業するわけですが、起業を元々考えていた訳ではなく、たまたまそうせざるを得ない状況に追い込まれたというのが正解かもしれません。思い切ってバンジージャンプした感じです。起業の動機は、「～したい」という強い願望もありますが、自分の場合は「怒り」が動機になっているかもしれません。



武田淳（右）、山口博（左）

(山口)

いずれにせよ、バンジージャンプするほどの、強い衝動があったのですね。私も起業しましたが、その気持ちはよくわかります。そして、2020年にタイ王国チェンマイへ移住されるわけですが、その理由は？

(武田)

今まで23ヶ国程訪問して来ましたが、いずれも出張ベースで、長期的に暮らすという事はありませんでした。実は学生時代から海外で暮らすことが夢だったので、一度経験したいという思いが強く、タイ王国は自分が一番多く訪問した国で、いつか移住するとしたらタイ王国かなと漠然と考えていました。

(山口)

私もタイに何度か出張したことがあります。親日派も多く、よい印象をもっています。

(武田)

タイ王国でも仕事の拠点は首都バンコクで、観光で訪れたチェンマイが山国育ちの自分にとって故郷を思い出す何かがあり、さらに気候的にも過ごし易いというのがもっばらの定評だったので、あまり深く考えずチェンマイに決めました。

またバンコクで暮らしているときも食事に関しては外食より自炊を主にしており、オーガニックの食品にこだわって買い物をしていましたが、特にオーガニックの新鮮な野菜類はチェンマイ産が多かったというのもチェンマイ移住のポイントの1つですね。



(山口)

オーガニックに着目したのは、いつ頃からで、何か契機があったのですか？

汝の食事を薬とし、汝の薬は食事とせよ

(武田)

実は独立後、自分の代りはいないという観点から、凄く健康に気を使うようになりました。2007年1月1日から煙草を止め、ウォーキングを始め、食事でも出来るだけ野菜中心にする様にしました。

サプリメントなども色々試してみましたが、私にはあまり効果があるようには感じられず、サプリメントはお金の無駄という事が分かり、それ以後一切のサプリメントは止めました。

(山口)

武田さんの勧めで、ウォーキングをするようになって、私もコンディションが良くなりました。

(武田)

「健康な身体づくり」をメインテーマに試行錯誤の日々でしたが、2016年に一般社団法人日本オーガニックレストラン協会代表理事の南清貴氏との出会いで、「食」と「栄養学」の大切さを学び、しかも食材は無農薬、無添加であるべきという事を痛感しました。

私達の身体は食べた物から出来ているという事と、古代ギリシャの医学の父ヒポクラテスの名言「汝の食事を薬とし、汝の薬は食事とせよ」によってこれだと確信しました。

(山口)

なるほど、それが、チェンマイでのオーガニックカフェ開設につながるのですね。カフェというと、こじんまりした店を勝手にイメージしていましたが、武田さんが建立したのは、城ではないですか。



カフェ兼自宅外観(2023年10月)

(武田)

お城は大袈裟ですが、イメージはスパニッシュ・コロニアル様式です。自分の理想通りの建物を建築してくれる業者をチェンマイで探す事と、タイの建築家や建築業者にそのイメージを伝えるのが非常に大変でした。設計に1年掛かりました。(笑)

(山口)

パティオがあるイメージですね。

(武田)

元々私は、アメリカのニューメキシコのサンタフェという街の建築様式(サンタフェスタイル)が好きで、それに近い建物をイメージしていたのですが、結果として写真の様になりました。カフェスペースとプライベートスペース(自宅)が一体となっており、将来的には敷地内で自然菜園などを考えております。

水道管を通し、電柱を9本立てて電線を引く

(山口)

周囲は山ですか？インフラはどうされたのですか？



カフェからの夕暮れ景色(2023年11月)

(武田)

この土地を購入した時は、隣には既に家が建っており、当然水道管や電線などはインフラとして整備されているものかと思っていました。ところが工事が始まりだして、建築業者から水道管はどうか電線はどうかするなど、思ってもいない事を聞かれ返答に困りました。どうするって？こっちが聞きたいと返答した覚えがあります。

(山口)

水道管も、電線もなかったということですね。

(武田)

結局、水道管は一番近い公共の水道管から自分たちで敷地内まで引き、電気は電線を近くのメイン電線から電柱を9本立てて自分の敷地内まで通す工事をしました。もちろん業者を雇ってですが、これらは全部自費で行いました。

(山口)

北海道富良野を舞台にした「北の国」からの、チェンマイ版ではないですか。アクシデントに見舞われたのではないですか？

(武田)

よくぞ聞いてくれました。もうアクシデント続きで、憔悴しきっています。チェンマイに来てもう1年経過しましたが、3kg痩せました。憔悴の一番の原因は、建築業者とのトラブルです。契約書には建築期間は190日と記載されていますが、実際は430日経過しても完成せず、施工スキルやマネジメント、スケジューリング等あまりにも酷かったのが、契約を解除しました。



カフェからの夕暮れ景色(2023年11月)

(山口)

契約期間の倍以上の期間、辛抱されて対応されたんですね。

(武田)

彼らが去ってから天井からの雨漏りが発生したり、パイプの詰まりで水が流れなかったり、様々なトラブルが発生し、未完成なのにメンテナンスが必要となり、屋根の補修工事やルーフトップの補修工事等やり直しを強いられました。今はコンクリートの壁面の至る所にクラックが発生し、そこからまた雨水が侵入し水漏れが起きるのではと心配しています。

(山口)

契約不履行ですよ。

「人生は魂の修行」という信念を、「人生は遊び」という信念に置き換える

(武田)

契約解除した建築業者とは、弁護士を入れ示談交渉に臨みましたが、逃げられました。引き継いでくれたのは、インテリアデザイナーでした。彼のチームで残りの工事は行っています。前の業者よりはましなのですが、前の業者の作業が酷すぎて、何かやれば何か問題が起き、1歩進んで2歩下がるのでマイナス1という事で、進んでいるのか、後退しているのか分からない現状です。もう焦っても仕方がないので、成るように成ると開き直っています。

(山口)

相当なストレスを感じたのではないかと拝察しますが、どのようにストレスマネジメントされているのですか。

(武田)

昨年2月、3月は精神的に一番堪えた時期でした。妻は鬱病に近い状態になり、私も過去一でしんどかったです。私のメンターの言葉を思い出して、「落ちるところまで落ちれば底に着く。底に着いたら後は上昇するだけ。」という言葉信じ、唯々「今」を生きる事にフォーカスしていました。

(山口)

思い通りにいかない不快感をコントロールすることは、とても難しいことだと思います。



(武田)

ある日思ったのですが、自分は昔から「人生は魂の修行」だと思って生きていたので、正しく「魂の修行」になるような「苦行」がいつも目の前に起きるのではないか、つまり人生は「自分の思った通りになっている」ではないか、と気付いたんですね。

であるならば、「苦行」より「遊び」の方が楽しいですし、そしてもっと楽しんだ方が良いのではないかと思い、「人生は遊び」という信念に書き換える必要があるなと思いました。ですので、今は「人生は遊び」だと思って生きています。「苦行」も「遊び」の一つだと思えば良いんです。

(山口)

苦難を乗り越え、オーガニックカフェのインターネット販売を、いち早く開始されましたね。私は学生時代、ブラジルに1年滞在し、一生分のカフェを飲みつくしたと思っているのですが、早速、購入させていただきましたが、上質であることは、わかりました。チャレンジし続けていること、胸をうたれます。



カフェ店内(左。2024年2月)と [インターネット販売をしているオーガニックカフェ](#)

(武田)

2020年9月、コロナ騒動の真っただ中にタイ王国へ移住し、今年で4年目に突入しましたが、今から思うと無謀な挑戦だったのかとも思っています。ただどうしても人生最後のチャレンジという事で、やらなかったら絶対後悔すると思いこの無謀な計画に挑みました。

実は今、バンコクの方で新規事業の話があり、チェンマイの方が思うように進まないで、バンコクに戻りこの新規事業の方を先に進めようとしています。いずれにせよベストなタイミングが来ると信じ、諦めずに一歩ずつ進んで行きます。

(山口)

悪事は別として、やったことの後悔よりも、やらなかったことの後悔の方が、強いものだと思います。

(武田)

若い頃は「どう生きるか」という「生き方」を模索しますが、この歳になると「どう逝く(死ぬ)か」という「逝き方」について深く考えます。もう自分の中での「逝き方」は、決まっています。そしていつ逝ってもいいように「今」を大切に、一日一日を過ごしています。

(山口)

「意識が行動を変える」という考え方がありますが、私は、意識を変えよう、変えようと思っても、それには長い時間がかかり、仮に意識がかわっても、そこから行動を変えるためのハードルを越えなければならぬので、この考え方を支持していません。

逆に、「行動が意識を変える」という考え方にたつて、動作と話法の発揮力を高めると、後から、自然に意識が変わるので、分解スキル反復演習®型能力開発プログラムを普及させています。武田さんの実践は、まさに、「行動が意識を変える」ことを実証されているように思います。

